

## 報告第3号

### 朝霞市生き物マップについて

# あさか い も の 朝霞生き物マップ

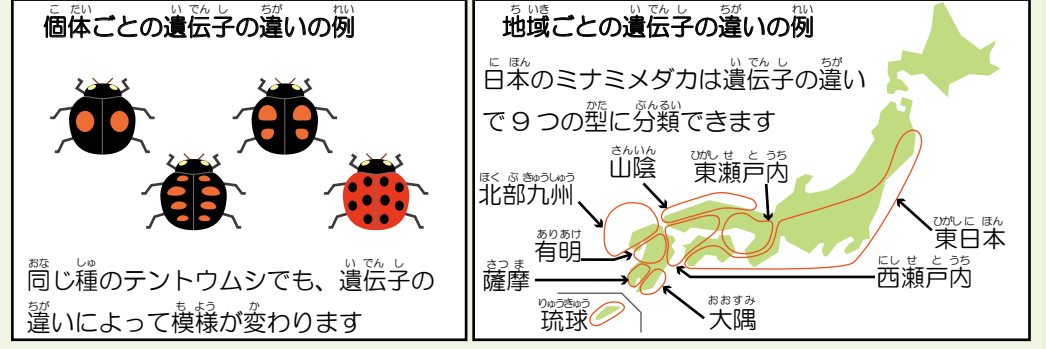


あさか し と し け ん せ つ ぶ こ う え ん か 朝霞市都市建設部みどり公園課  
 令和6年2月改訂

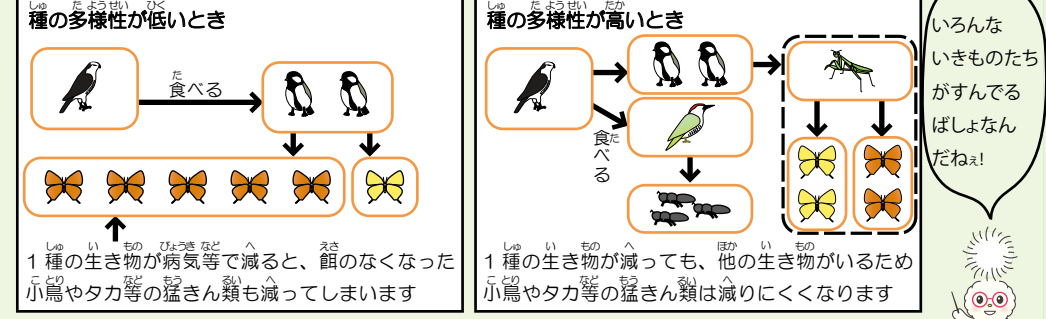
**■生物多様性とは**  
 この地球上には、動物や植物など、多くの生き物がいます。それらの生き物や、生き物同士の関係の豊かさのことを生物多様性といいます。わが国には、9万種以上の生き物がいます。朝霞市にも、水辺や樹林地など、私たちの身近に多様な生き物がすんでいます。

**■3つの多様性**  
 生物多様性には、①遺伝子の多様性、②種の多様性、③生態系の多様性の3つがあります。

**①遺伝子の多様性**  
 同じ仲間として分けられる生き物の集まりを種といいます。同じ種のなかでも遺伝子は1匹ずつ違います。また、地域によって遺伝子が特徴を持つこともあります。



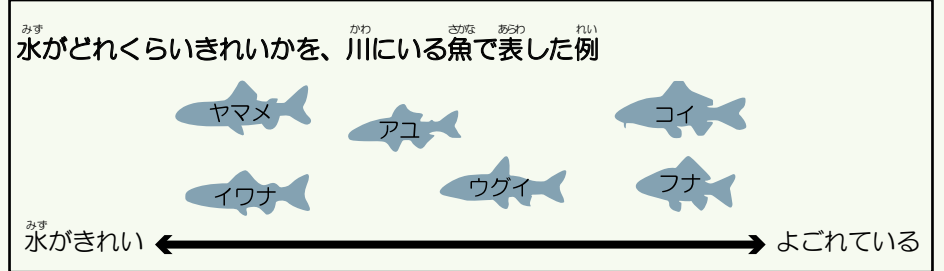
**②種の多様性**  
 一つの生き物の集まりに含まれる種の多さを表します。また、種の数だけでなく、それぞれの種の生き物の数のバランスがとれていることも、多様性の指標となります。



**③生態系の多様性**  
 太陽の光や水、土の養分等が循環する生き物のつながりを生態系といいます。森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁等、様々な環境に応じた生態系があります。

**■世界の動き**  
 現在、世界の生物多様性は減少し続けています。このマイナスの方向からプラスの方向へ回復させていく「ネイチャーポジティブ」という新しい世界の目標も生まれています。  
 ※詳しくは、環境省ホームページ：<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/eye/20240214.html>

**指標種とは**  
 生き物がある場所にすむためには、エサがとれ、巣作りや産卵などができる環境が必要です。そして、生き物の種によって必要な環境は違っています。そこで、どのような生き物がいるのか調べることで、そこがどのような場所か知ることができます。



**外来生物について**  
 人の活動によって外国から入ってきた外来生物の中には、生態系に悪い影響を与えるものがあります。昔からいる生き物を守るために、そうした外来生物を日本に入れないこと、野外に捨てないこと、既にある場所から抜けないことが大切です。



- アリグマ (特定外来生物/生態系被害防止外来種) 原産地: 北アメリカ**  
 特徴: 頭からお尻までは40~60cmくらいで、目の周りが黒い顔としま模様のしっぽが特徴です。タヌキはアリグマに似ていますが、しっぽの模様がなく、足は黒色です。
- アカミミガメ (条件付特定外来生物) 原産地: アメリカ**  
 特徴: 甲羅が約10cmになる中型のカメです。頭の両側に赤い模様があるのでアカミミガメと呼びますが、本当の耳はその後ろにあります。雑食性で、他のカメの卵を食べてしまうことがあります。
- アメリカザリガニ (条件付特定外来生物) 原産地: アメリカ**  
 特徴: 約10cmぐらいになるエビで、若い個体は色が淡く、脱皮をして成長すると赤い色になります。雑食性で落ち葉や水草、水生昆虫やオタマジャクシ、魚などいろいろな生物を食べてしまいます。

- ノコギリクワガタ**  
 指標環境: 落葉・常緑広葉樹林 見られる時期: 6~9月  
 特徴: クワガタムシの幼虫は倒れてくさった木を食べて育ちます。成虫になると、クヌギなどの樹液に集まります。
- キツネノカミソリ (県: 準絶滅危惧)**  
 指標環境: 落葉広葉樹林 花の時期: 8~9月  
 特徴: 地面近くに広げた葉が夏ごろに枯れると茎を30~50cmくらい伸ばして、オレンジ色の花をいくつか咲かせます。
- トウキョウダルマガエル (県: 準絶滅危惧 国: 準絶滅危惧)**  
 指標環境: 湿地性の種が生息しやすい環境 見られる時期: 4~9月  
 特徴: 水田や浅い池等の水辺で見られます。背中に緑色の線と黒っぽい斑点がありますが、模様や色が個体によって大きく違います。
- トダスケ**  
 指標環境: 良好な湿地環境 花の時期: 4~6月頃  
 特徴: 丸く小さな粒が円柱状に集まった穂の先に白く小さな穂を3~4本つけます。
- カワセミ**  
 指標環境: 魚が豊富な河川 見られる時期: 一年中  
 特徴: スズメより少し大きく、青とオレンジの鮮やかな体の色が特徴です。魚や水生昆虫を、水に飛び込んで捕まえます。
- アユ**  
 指標環境: ややきれいな水 (水質階級Ⅱ) 見られる時期: 4~9月  
 特徴: 背中が緑で、腹が銀白色をしています。アユはキュウリやスイカのような、独特の香りを持っています。
- ヒバリ**  
 指標環境: 自然/半自然的なオープンスペース 見られる時期: 一年中  
 特徴: スズメより少し大きく、草原や畑等でよく見られます。春に空高く飛びながら「ピーチュルルピーチュルル」と鳴いています。
- ツチイナゴ**  
 指標環境: 草地、畑や水田の畔 見られる時期: 一年中 (8月幼虫)  
 特徴: 淡い土色をした大きなバッタで、草のよく茂った野原で見られる。クスの葉を好んで食べ、成虫で冬を越すバッタです。

写真の提供者を裏面に記載しています。

# 朝霞市で見られる生き物たち

## 草地・農地などの開けた場所で見られる生き物



ツグミ ヒバリ ニホンカナヘビ  
ツチイナゴ チガヤ ツユクサ

## 樹林地で見られる生き物



アオゲラ ウグイス オオタカ  
タマムシ オオスズメバチ ヤマブキソウ  
シジュウカラ ノコギリクワガタ シロテンハナムグリ  
ヤマユリ ウラシマンソウ キツネノカミソリ

## 外来生物



アライグマ アカミミガメ アメリカザリガニ  
オオキンケイギク オオバタクサ セイタカアワダチソウ



## 湿地で見られる生き物



トウキョウダルマガエル オニヤンマ(幼虫) オオシオカラトンボ  
ネコノメソウ トダスゲ タコノアシ

## 川や池で見られる生き物



カワセミ キセキレイ コサギ  
アユ オイカワ ウキゴリ  
アオサギ カルガモ ヒドリガモ  
テナガエビ コオニヤンマ ハグロトンボ

このマップは、朝霞市の生物多様性市民懇談会にご参加いただいた環境関係団体の皆様にご意見をいただいたほか、日頃の活動で見つけた生き物の写真をご提供いただき作成しています。

- 【懇談会参加団体】(順不同・敬称略)  
 あさか環境市民会議、黒目川に親しむ会、埼玉県生態系保護協会本部・朝霞支部、秋ヶ瀬野鳥クラブ、あさかきちあとち しぜん まち かい、あさかしせいしよくつほ こ かい、しんがしがわ かい、朝霞基地跡地の自然を守る会、朝霞湿生植物保護の会、わくわく新河岸川みどりの会
- 【写真提供者】(順不同・敬称略)  
 ■あさか環境市民会議 ■黒目川に親しむ会 ■埼玉県生態系保護協会本部・朝霞支部 ■秋ヶ瀬野鳥クラブ  
 ■朝霞基地跡地の自然を守る会 ■朝霞湿生植物保護の会 ■わくわく新河岸川みどりの会  
 ■NPO法人自然観察指導員埼玉

問合せ：朝霞市都市建設部みどりの公園課 〒351-8501 埼玉県朝霞市本町 1-1-1  
 電話：048-463-0374 (直通) F A X：048-463-9490 このマップに掲載した画像の無断転載・複製を禁止します。